

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年8月11日

【四半期会計期間】 第80期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

【会社名】 日水製薬株式会社

【英訳名】 Nissui Pharmaceutical Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長執行役員 佐々 義廣

【本店の所在の場所】 東京都台東区上野三丁目23番9号

【電話番号】 03-5846-5611

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員経理部長 後藤 守男

【最寄りの連絡場所】 東京都台東区上野三丁目23番9号

【電話番号】 03-5846-5611

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員経理部長 後藤 守男

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第79期 第1四半期連結累計期間	第80期 第1四半期累計期間	第79期
	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	2,807,000	3,226,015	12,177,567
経常利益 (千円)	338,867	628,067	2,097,554
四半期(当期)純利益 (千円)	172,121	189,918	1,615,467
持分法を適用した 場合の投資利益 (千円)			
資本金 (千円)	4,449,844	4,449,844	4,449,844
発行済株式総数 (株)	22,547,140	22,547,140	22,547,140
純資産額 (千円)	23,477,876	24,363,182	24,354,920
総資産額 (千円)	26,408,033	27,245,023	27,544,764
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	7.69	8.48	72.13
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
1株当たり配当額 (円)			24
自己資本比率 (%)	88.9	89.4	88.4

- (注) 1 当社は平成23年4月1日付で連結子会社であった株式会社リスプランを吸収合併したことに伴い、当第1四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成していないため、上記期間のうち第79期第1四半期連結累計期間は連結経営指標等を、第80期第1四半期累計期間および第79期は提出会社個別の経営指標等を記載しております。
- 2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 3 持分法を適用した場合の投資利益については関連会社がないため記載しておりません。
- 4 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。
また、主要な関係会社の異動について、連結子会社であった株式会社リスプランは平成23年4月1日付で当社と合併しました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等は行われていません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による社会的なインフラや電力供給、風評被害など懸念すべき問題も多く、先行きは不透明な状況になっております。

医薬品業界においては、新薬価制度への変更に伴い、後発医薬品ビジネスへの大手新薬メーカーの参入など、各企業の組織構造の改革が見受けられ、また新販売制度におけるOTC医薬品の販売方法に対する不透明感と販売チャネルの多様化による市場の厳しさが増しております。

このような状況のもと、当第1四半期累計期間の売上高は32億26百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は5億22百万円、経常利益は6億28百万円となり、四半期純利益は投資有価証券評価損の発生などにより1億89百万円となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

診断薬事業の売上高は20億49百万円となりました。分野別では、微生物学的診断用薬が10億26百万円、免疫血清学的診断用薬が8億4百万円、精度管理用血清他が1億29百万円、検査用機器および器材他が90百万円となりました。この事業の営業利益は5億9百万円であります。

医薬事業の売上高は11億76百万円となりました。分野別では医薬品が5億56百万円、健康食品他が3億68百万円、化粧品他が2億50百万円となりました。この事業の営業利益は2億7百万円であります。

ただし、両事業に配賦できない支援部門に係る費用等1億94百万円が控除されていません。

なお、平成23年4月1日付で連結子会社であった株式会社リスブランを吸収合併いたしました。これにより当社は連結財務諸表非作成会社となりましたので、前年同四半期との比較は行っていません。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期会計期間末の資産合計は前事業年度末に比べ2億99百万円減少し272億45百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べ3億29百万円増加し139億90百万円となりました。これは主に現金及び預金が9億21百万円増加し、有価証券が5億93百万円減少したことによります。

固定資産は前事業年度末に比べ6億29百万円減少し132億54百万円となりました。これは主に合併に伴い子会社から有形固定資産の受入等が5億72百万円増加し、投資その他の資産が12億10百万円（関係会社株式の減少12億87百万円）減少したことによります。

当第1四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末に比べ3億8百万円減少し28億81百万円となりました。

流動負債は前事業年度末に比べ3億45百万円減少し19億94百万円となりました。これは主に未払法人税等が2億31百万円、賞与引当金が1億51百万円減少したことによります。

固定負債は前事業年度末に比べ37百万円増加し8億87百万円となりました。

当第1四半期会計期間末の純資産合計は前事業年度末に比べ8百万円増加し243億63百万円となりました。

この結果、自己資本比率は89.4%となりました。

(3) 従業員の状況

当第1四半期累計期間において、連結子会社であった株式会社リスプランを吸収合併したことにより、医薬事業の従業員数は前会計年度末に比べ60名増加しました。これにより全従業員数は370名となりました。なお、臨時従業員数は（平均雇用人員）3名が増加し、73名となりました。

(4) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は、1億62百万円であります。その内訳は診断薬事業1億0百万円、医薬事業62百万円であります。

なお、当第1四半期累計期間において当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	44,000,000
計	44,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,547,140	22,547,140	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株です。
計	22,547,140	22,547,140		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日		22,547,140		4,449,844		5,376,172

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 149,300		
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,365,900	223,659	
単元未満株式	普通株式 31,940		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	22,547,140		
総株主の議決権		223,659	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が500株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数5個が含まれております。
- 2 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式が99株および証券保管振替機構名義の株式が43株含まれております。

【自己株式等】

平成23年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 日水製薬株式会社	東京都台東区上野 3 - 23 - 9	149,300		149,300	0.66
計		149,300		149,300	0.66

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

当社は、平成23年4月1日付で連結子会社であった株式会社リスブランを吸収合併したことにより連結財務諸表非作成会社となり、前第1四半期累計期間の四半期財務諸表は作成しておりませんので記載しておりません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び当第1四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は、平成23年4月1日付で、連結子会社であった株式会社リスブランを吸収合併したことにより連結財務諸表非作成会社となったことから、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,870,066	3,791,963
受取手形及び売掛金	2,951,026	2,934,268
有価証券	1,598,273	1,004,978
商品及び製品	1,470,841	1,579,223
仕掛品	306,272	355,418
原材料及び貯蔵品	466,644	629,617
繰延税金資産	150,303	59,687
関係会社預け金	3,491,118	3,493,093
その他	370,556	156,392
貸倒引当金	14,720	14,594
流動資産合計	13,660,383	13,990,049
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,973,685	2,294,999
機械装置及び運搬具(純額)	463,642	452,868
土地	2,006,879	2,281,579
その他(純額)	187,506	175,063
有形固定資産合計	4,631,713	5,204,510
無形固定資産		
ソフトウェア	79,820	81,917
その他	6,984	13,124
無形固定資産合計	86,804	95,042
投資その他の資産		
投資有価証券	7,252,120	7,385,483
繰延税金資産	411,348	353,712
その他	1,528,674	242,675
貸倒引当金	26,280	26,451
投資その他の資産合計	9,165,863	7,955,421
固定資産合計	13,884,381	13,254,974
資産合計	27,544,764	27,245,023

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,112,436	1,130,190
未払法人税等	382,484	150,715
賞与引当金	205,868	54,766
役員賞与引当金	25,998	12,375
返品調整引当金	2,000	-
歩戻引当金	13,476	30,692
その他	597,799	615,715
流動負債合計	2,340,061	1,994,454
固定負債		
長期未払金	66,408	66,408
退職給付引当金	404,857	439,648
その他	378,516	381,330
固定負債合計	849,781	887,386
負債合計	3,189,843	2,881,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,449,844	4,449,844
資本剰余金	5,378,419	5,378,419
利益剰余金	14,903,439	14,802,187
自己株式	96,587	96,661
株主資本合計	24,635,115	24,533,789
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	280,194	170,607
評価・換算差額等合計	280,194	170,607
純資産合計	24,354,920	24,363,182
負債純資産合計	27,544,764	27,245,023

(2)【四半期損益計算書】
 【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,226,015
売上原価	1,578,236
売上総利益	1,647,779
返品調整引当金戻入額	2,000
販売費及び一般管理費	1,127,136
営業利益	522,642
営業外収益	
受取利息	32,199
受取配当金	45,874
デリバティブ評価益	24,204
その他	4,088
営業外収益合計	106,366
営業外費用	
支払利息	46
為替差損	799
その他	94
営業外費用合計	941
経常利益	628,067
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	64,285
特別利益合計	64,285
特別損失	
固定資産処分損	1,789
投資有価証券評価損	239,491
災害による損失	12,013
特別損失合計	253,295
税引前四半期純利益	439,058
法人税、住民税及び事業税	149,549
法人税等調整額	99,590
法人税等合計	249,139
四半期純利益	189,918

【継続企業の前提に関する事項】

当第1四半期会計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	減価償却費 118,799千円
---	-----------------

当社は、当第1四半期累計期間から四半期財務諸表作成会社となったため、前第1四半期累計期間の(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)注記は記載しておりません。

(株主資本等関係)

当第1四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	291,170	13	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当社は、当第1四半期累計期間から四半期財務諸表作成会社となったため、前第1四半期累計期間の(株主資本等関係)注記は記載しておりません。

(企業結合等関係)

当第1四半期会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

共通支配下の取引等

(1)結合当事企業の名称およびその事業内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称、および取得の目的を含むその他取引の概要に関する事項

被取得企業の名称およびその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社リスブラン(100%子会社)

事業の内容 基礎化粧品、医薬部外品、石鹸類等の製造販売

企業結合日

平成23年4月1日

企業結合の法的形式

当社を存続会社、株式会社リスブランを消滅会社とする吸収合併

結合後企業の名称

日水製薬株式会社

その他取引の概要に関する事項

本合併により、経営資源の集中による経営の効率化を図り当社の継続的な安定成長および収益力を更に向上させることを目的としております。

(2)実施した会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成20年12月26日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	診断薬事業	医薬事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,049,848	1,176,167	3,226,015
セグメント利益	509,640	207,620	717,261

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	717,261
全社費用(注)	194,618
四半期損益計算書の営業利益	522,642

(注) 全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。

当社は、当第1四半期累計期間から四半期財務諸表作成会社となったため、前第1四半期累計期間の(セグメント情報等)注記は記載しておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	8円48銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	189,918
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	189,918
普通株式の期中平均株式数(株)	22,397,713

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

当社は、当第1四半期累計期間から四半期財務諸表作成会社となったため、前第1四半期累計期間の(1株当たり情報)注記は記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は退職給付制度として、確定給付型の退職一時金制度、適格退職年金制度を採用しておりますが、平成23年7月28日開催の取締役会において、同制度を廃止し、確定拠出年金制度へ移行することを決議いたしました。新制度移行日は、平成23年10月1日を予定しております。

なお、本移行に伴う会計処理については「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号 平成14年1月31日）を適用する予定であります。本移行に伴う損益に与える影響額については、合理的に見積もることが困難であるため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月11日

日水製薬株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 栄 司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 林 宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日水製薬株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第80期事業年度の第1四半期会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、日水製薬株式会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。